

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【公開番号】特開2010-75745(P2010-75745A)

【公開日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-014

【出願番号】特願2010-2941(P2010-2941)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月25日(2011.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示手段を備え、当該複数種類の識別情報の可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

前記可変表示手段は、外部より視認可能な表示画面に画像を表示する第1の画像表示装置と、

当該第1の画像表示装置の表示画面の裏面側に配置され、当該第1の画像表示装置の表示画面とは異なる表示画面に画像を表示する第2の画像表示装置とを含み、

前記第2の画像表示装置の表示画面は、前記第1の画像表示装置の表示画面と画面サイズが同一で画素数も同一であり、前記第1の画像表示装置の表示画面を介して視認可能に構成され、

前記第1の画像表示装置または前記第2の画像表示装置において識別情報の可変表示を実行する可変表示制御手段と、

識別情報とは異なる画像である特定演出画像を前記第1の画像表示装置に表示する制御を行う特定演出画像表示制御手段とを備えた

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明による遊技機は、各々を識別可能な複数種類の識別情報(例えば飾り図柄)を可変表示可能な可変表示手段(例えば飾り図柄表示装置11)を備え、当該複数種類の識別情報の可変表示の表示結果が特定表示結果(例えば大当たり図柄)となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態(例えば大当たり遊技状態)に制御可能となる遊技機であって、可変表示手段は、外部より視認可能な表示画面に画像を表示する第1の画像表示装置(例えば第1の液晶表示装置12(透明LCD12))と、当該第1の画像表示装置の表示画面の裏面側に配置され、当該第1の画像表示装置の表示画面とは異なる表示画面に画像を

表示する第2の画像表示装置（例えば第2の液晶表示装置13（盤面LCD13））とを含み、第2の画像表示装置の表示画面は、第1の画像表示装置の表示画面と画面サイズが同一で画素数も同一であり、第1の画像表示装置の表示画面を介して視認可能に構成され、第1の画像表示装置または第2の画像表示装置において識別情報の可変表示を実行する可変表示制御手段と、識別情報とは異なる画像である特定演出画像（例えば、飾り図柄、キャラクタ画像、飾り図柄が停止したときやキャラクタ画像が表示されたときに一緒に表示されるエフェクト画像、「リーチ状態」になったこと等を報知する文字画像等）を第1の画像表示装置に表示する制御を行う特定演出画像表示制御手段とを備えたことを特徴とする。そのような構成によれば、第1の画像表示装置に特定演出画像が表示されるかによって、遊技者の期待感を高揚させることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】